Ⅲ．めざそう！ 消費者市民社会

消費者一人一人が、自分だけでなく周りの人々や将来生まれる人々の状況、国内外の社会経済情勢や地球環境にも思いをはせて生活し、公正で持続可能な社会の形成に積極的に参加する社会を**「消費者市民社会」**といいます。具体的には、消費者が単に、受け身の立場で「買う・買わない」を決めるのでなく、自分がこの商品を買う（この事業者と取引をする）ことが、相手方の事業者だけでなく経済や環境などにも影響を与えることを意識して行動する社会のことです。

1. 消費の持つ影響力

私たちは、毎日いろいろな商品やサービスを買う「消費者」です。

また、GDP（国内総生産）の６割近くを個人消費支出が占めていることからも明らかなように、私たち消費者の行動が、経済だけでなく、社会、環境に大きな影響を与えます。

こんなときどうする？

たとえば…
買い物するとしたら…

→ 地産地消※1のものを選ぶ → ・地域経済が活性化する
・消費者の地域を応援する気持ちが高まる
・食料自給率の向上につながる　など

→ フェアトレード商品※2を選ぶ → ・開発途上国の生産者の生活改善と自立につながる
・良い商品を適正な価格で買うことができる

※１　地域で生産されたものを地域で消費すること
※２　開発途上国の立場の弱い生産者や労働者の生活向上を図るため、適正な価格で取引された商品

商品を選択することは、事業者に対して「お金を投票」していることと同じです。
私たちが何を選ぶかによって、経済だけでなく、社会や環境にも大きな影響を与えます。

たとえば…
製品やサービスで事故にあったら

→ 消費生活センターやお客様相談室に相談する → ・欠陥が調査・改善される
・より安全で安心な製品やサービスが提供される
・健全な事業者が育つ

→ 相談しないであきらめる → ・欠陥のある商品やサービスが売られ続ける
・同じような被害にあう人が増える
・悪質な事業者が販売を続ける

消費生活センター等に相談することは、個人の問題解決のためだけでなく、次の被害者を減らすことにつながります。

2.「消費者市民社会」をめざすためには？

良い商品・サービスを選ぶ

事業者は商品を改善し、
悪質な商品やサービスは減っていきます。

石川県エコ・リサイクル認定製品マーク

国際フェアトレード認証ラベル

必要なものを必要な分だけ買う

多くの消費者が買いすぎないことを心がければ、必要な人に商品が行き渡り、資源の無駄を省くことができます。

必要のないサービスは断る

マイバッグを持参し、
過剰な包装を断れば
事業者も包装を簡素化し、
ゴミの減少につながります。

環境、人、社会に「やさしい」商品を選ぶ

環境、人、社会に「やさしい」商品を
事業者が積極的に販売するようになり、
環境問題や労働問題の改善、地域経済の活性化
などにつながります。

人や社会、環境に配慮したものやサービスを選んで消費することを**エシカル消費**といいます。
「エシカル（ethical）」とは、「倫理的な・道徳的な」という意味です。

このような取組を通して

- 健全な事業者が育ち、良質で安全な商品・サービスが増える
- 消費者の積極的な行動によって安全、安心に暮らすことができる
- 消費者市民社会の実現

気づいてる?未来を創る消費の力
消費者市民社会
Consumer Citizen Society
石川県の「消費者市民社会」シンボルマーク

消費者市民としての行動で社会を変える

できることからはじめてみよう

自分ができることをチェックしてみよう！

- □ 商品やサービスを選ぶときに、本当に必要かどうか考える
- □ 商品やサービスを選ぶときに、
  ①品質や原料
  ②環境に配慮しているかどうか
  ③長く使えるかどうか
  ④労働者の人権
  を考える
- □ マイバッグを用意し、無駄な包装を断る
- □ 省エネ・リサイクル商品を購入する
- □ 地元で作られたものを選んで買う
- □ 商品を廃棄する際には、住んでいる自治体の区分に従って分別する
- □ 商品やサービスに対して、店やメーカーに意見や要望を言う